

殺虫剤

DC油剤

1,3-ジクロロプロペン…………… 97.0%

種類名/D-D剤
 農林水産省登録/第22031号
 (エス・ディー・エス バイオテック登録)
 毒性/劇物
 有効年限/3年
 危険物表示/4-2石
 包装/20ℓ

特 長

- 有効成分を高濃度に含有しているので使用量が少なくすみ省力的です。
- 春先や秋季の低温時でも効果を発揮します(地温7℃以上が望ましいです)。
- ネコセンチュウのほか、防除しにくいネグサレセンチュウ、シストセンチュウにも効果があります。
- ばれいしょの青枯病、そうか病にも有効です。

適用害虫と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用害虫名	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
ね ぎ	ネダニ類	20 ℓ 〔1穴当り 2mℓ〕	作付の 10～15日前 まで	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する	1回
	ネコセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20 ℓ 〔1穴当り 1.5～2mℓ〕		①全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する ②作条処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する	
レタス、非結球レタス、非結球あぶらな科葉菜類、せり科葉菜類、きゅうり、すいか、いちご、トマト、ミニトマト、メロン、かぼちゃ、なす、ピーマン、とうがらし類、まくわうり、だいごん、はつかだいごん、にんじん、かぶ、ごぼう、てんさい、こんにゃく、さといも、らっかせい、しょうが、やまのいも、みょうが(花穂)、みょうが(莖葉)、しそ、パジル、うど、薬用にんじん、食用ぎく、しそ(花穂)、オクラ、にがうり、もりあざみ、らっきょう、みしまさいこ、さやいんげん、にら、つるむらさき、花さ類 観葉植物(きくを除く)					
は く さ い ほ う れ ん そ う キ ャ ベ ツ	テンサイシストセンチュウ	20 ℓ 〔1穴当り 2mℓ〕		全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する	
ブ ロ ッ コ リ ー カ リ フ ラ ワ ー					

作物名	適用害虫名	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
樹 木 類	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 ℓ 〔1穴当り〕 1.5~2mℓ	植付の 10~15日前 まで 作付の 10~15日前 まで	①全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の畧盤の目 に切り千鳥状に深 さ15~20cmに所 定量の薬液を注入 し直ちに覆土鎮圧 する ②作条処理 は種又は植付前 にあらかじめ予定 された溝に30cm間 隔に所定量の薬液 を注入し直ちに覆 土鎮圧する	1回
う り 類 (漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫				
だ い ず め え だ ま	ダイズシストセンチュウ	20 ℓ 〔1穴当り〕 2mℓ			
豆類 (未成熟、但し、 えだまめ、さやいん げんを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15~20 ℓ 〔1穴当り〕 1.5~2mℓ			
か ん し ょ	ネコブセンチュウ	15~30 ℓ 〔1穴当り〕 1.5~3mℓ			
	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15~20 ℓ 〔1穴当り〕 1.5~2mℓ			
き く	ネグサレセンチュウ	15~40 ℓ 〔1穴当り〕 1.5~4mℓ			
	ネコブセンチュウ コガネムシ類幼虫				
す ぎ ・ ひ の き (は種床)	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ	15~20 ℓ 〔1穴当り〕 1.5~2mℓ			
す ぎ ・ ひ の き (床替床)	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫				
ば れ い し ょ	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	30~40 ℓ 〔1穴当り〕 3~4mℓ			
	ジャガイモシストセンチュウ				
	青枯病 そうか病				
	ジャガイモシストセンチュウ	40 ℓ 〔1穴当り〕 4mℓ	全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の畧盤の目 に切り千鳥状に深 さ15~20cmに所 定量の薬液を注入 し直ちに覆土鎮圧 する		

(つづく)

作物名	適用害虫名	10a 当り 使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20 ℓ 〔1穴当り 2mℓ〕	作付の 30日前まで	①全面処理 耕起整地後、30cm ×30cm間隔で地表 面から深さ15cmに 所定量の薬液を注 入し、直ちに注入口 をふさぎ、鎮圧する	1回
		4～6 ℓ 〔1穴当り 1.3～2mℓ〕	作付の 30～45日 前 まで	②畦内処理 植付前、畦立・畦面 被覆後に、植付予定 位置の深さ15～20 cmに所定量の薬液 を注入し、直ちに覆 土鎮圧する。 但し、ガス抜きは行 わないこと	
茶	ネコブセンチュウ	20 ℓ 〔1穴当り 2mℓ〕	作付の 10～15日 前 まで	全面処理 耕起整地後、縦横30 cm間隔の畧盤の目 に切り千鳥状に深 さ15～20cmに所 定量の薬液を注入 し直ちに覆土鎮圧 する	

使用にあたって

■使用上の注意

- 土壌中にガスを十分拡散させるため、耕起、整地はていねいに行ってください。
- 温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい長くしてください。
- 処理後、未消毒の土がなるべく混入しないように注意してください。
- ばれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意してください。
- 茶葉を収穫する茶樹成木には使用しないでください。また、茶樹幼木に使用する場合は、翌年に茶葉を収穫しないでください。
- 処理後の放置期間と効果、薬害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様でないので、本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意してください。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- ミツバチの巣箱周辺での使用はさけてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害




- 生育中の作物には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 処理は原則として作付の10～15日前に行い、作付の3～4日前に畑を耕起して十分にガス抜きをしてください。ガス抜きが不十分な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 処理後大雨があったり、土壌が重粘土質で通気の悪い所では、ガス抜きを特に念入りに行ってください。

■水産動植物への注意




- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物ですので取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、保温して安静にしながら、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、通風の良好な場所で足を高くし、顔を横に向け、体を暖め、頭部を冷やして安静にしながら、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
-    ● 本剤の投薬およびガス抜き作業の際は、吸収缶（活性炭入り）付き防護マスク、不浸透性手袋、保護メガネおよび長ズボン・長袖の作業衣を着用し、薬液が皮膚に付着したり、揮散したガスを吸い込んだり、また、薬液やガスが眼に入らないように注意してください。
- 作業に際してはガスに暴露しないように風向き等を十分に考慮してください。特に住宅付近での使用に当っては十分注意してください。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 本剤が衣服等に付着した場合には、直ちに着替え、本剤が付着した衣服等は他のものとは分けて洗濯し、臭気が抜けるまでは身に付けないでください。
- 作業中およびくん蒸中の圃場へ、小児等作業に関係のない者や家畜、家禽が立ち入らないよう十分に注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、作業中およびくん蒸中に小児や作業に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意してください。

■貯蔵上の注意

-  ● 密栓し、火気をさけ、種子、苗、肥料および他の農薬などと隔離し、直射日光があたらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。